

竹行燈 啐啄齋好、大臺ト手松のヌリ漆、千家にてはすべて紙のあるは燈心三すじ、懸燈臺 元伯好竹油盞を用ゆ、

同桐 利休形、二枚土器、水遣の場に用ゆ、

手燭 利休形、銅眞黒塗、

小燈 青磁 瀬戸 樂燒啐啄齋好、香爐クニスリ、小坐敷席中は小燈を用ひ、廣間と庭中は手燭を用ゆ、

金入小燈 了々齋好、善五郎作、

菊燭臺 原叟好、柱ケヤキ、蜘蛛手桐、菊タンハン金入、

同小道具

油盞 短檠、露地、何れも利休形、

土器 行燈、水遣懸燈臺、何れも利休形、燈籠は了々齋好、

火皿 短檠利休形、行燈啐啄齋好、香爐藥カキ色にて、四ツ目垣の模様、

搔立 黒モジは席中、杉は庭中に用ゆ、何れも利休形、

油次 利休形、黒塗なり、

〔茶道要録上〕座席之段々同床事

一燈器之事、中柱ナキ座席ニハ挂燈カケトリ械ガイヲ用テモ吉、是闕カケタルノ爲體也、此時燈下ノ壁ニ付テ下皿ヲ置、鍛楊枝ソウヤウジヲ一本置、是燈カケトリ椀也、木燈臺ハ大小二ツ有、小ハ一疊半ヨリ二疊迄ニ用、大ハ二疊半ヨリ三疊迄ニ用、三疊半ヨリ四疊半ニハ短檠ヲ用、各燈椀カケトリヲ下皿ノ内ニ手形ニ横ニ置也、短檠ノ下皿ハ、紙ヲ二枚重四半ニ折テ敷載置、燈心ハ何レモ七筋入ル、長シテ末ヲ結テ置也、燈械、燈臺、短檠、行燈共ニ悉ク寸法アリ、燈盞、下皿ニモ各形アリ、座ノ大小ニ不寄、必ズ朝ハ行燈ヲ用、燈心五筋入ル、燈盞ニハ常ノ土器ヲ一枚下ニ重テ、下皿ノ上ニ竹ノ輪高サ八分ニ伐テ置、其上ニ土器共ニ載